

### 30 NPOサポートセンター

行動計画記載の内容等
1 NPOの人材育成やNPO立ち上げへのサポート体制を整備する。 ・モデル事業並びに研修カリキュラムを整備し、実施する。
2 NPO、コミュニティビジネスを通じた事業を起こす際にワンストップサービスによる基盤整備を行う。 人材育成、資金調達、コンサルティング等のワンストップサービス(ワンドアセンターの設立) シニアコンサルタントの登録増加
3 大学等の教育機関とNPOとの連携による新しい男女の生涯学習のプラットフォーム(基盤)をつくる。 大学とNPO、行政、企業、商店街との連携による地域プラットフォームをつくり、学習や活動の機会を増やす。 大学生のNPOへのインターンシップを拡大して実施する。
4 NPOの総合情報ソフト(Nポート)を活用して男女平等の社会参画を推進する。

「男女平等参画のための東京都行動計画 平成 17 年度取組実績」

17 年度の具体的取組内容	実 績
<p>NPO は、あらゆる市民の社会参加を促すことによって、男女共同参画社会を作る最大の道具であるが、NPO 担い手の 80% 近くが女性であり、社会参加の遅れを反映したものである。改善するためには、男女共同参画を可能にする新しいプラットフォームづくりが必要である。</p>	
<p>非営利セクターの人材育成システムを大学等と連携して実施する。</p>	<p>NPO 中間支援組織のサポートセンター全国連絡会を組織、運営している。2 月に全国連絡会議を開き、指定管理者制度や中間支援組織のあり方などについて協議した。</p> <p>NPO、行政、大学などと協働して地域プラットフォームをつくった（大田区、杉並区、葛飾区、麻布大学、明治大学、法政大学など）</p> <p>NPO の総合情報サイト（NPORT）新たに地図情報と連動したGIS によるサービス提供を開始したことにより、登録団体が増え、約 20,000 団体のデータベースを構築した。</p>
<p>昨年度に引き続き、ワンストップサービスによる NPO・コミュニティビジネスの基盤強化を図る。</p> <p>またシニアコンサルタント「ワンストップ 100 人委員会」の拡充とスキルアップを図る。</p>	<p>地域づくりにおける NPO と自治体との協働の仕組みづくりに注目し、全市および東京都の特別区の NPO・市民活動担当課（735 自治体）を対象にアンケート調査を実施。地域づくりにおける戦略的な協働の仕組みづくりに向けた課題を提起した。</p> <p>NPO サポートセンターと NPO ワンストップ 100 人委員会による取り組みで、杉並区のすぎなみ地域大学「公共サービス起業コース」など、人材育成のための教育カリキュラムを確立し、公共性を担う人材育成にも力を入れた。</p>
<p>都内における、大学等の教育機関と NPO との連携による新しい男女の生涯学習のプラットフォーム（基盤）の拡充・強化を図る。</p>	<p>NPO 法人認証 20,000 団体達成記念として、3 つの事業を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 NPO 経営相談会 市民活動実践にあたり、具体的な課題や質問、悩みを抱えている団体に、個別にアドバイス</li> <li>2 セミナー 「NPO マーケティングと広報戦略について」</li> <li>3 団塊世代のための NPO 講座 「地域活動への参画を支援するキッカケ」</li> </ol>
<p>NPO の総合情報サイト（NPORT）において、新たに地図情報と連動した GIS によるサービス提供を開始する。</p>	<p>法政大学大学院政治学専攻に、2006 年度から「市民社会ガバナンスコース」が開設され、大学内の NPO プラットフォーム研究所の開設とあわせ、NPO サポートセンターとの連携が決定。</p> <p>「産官学民」のプラットフォームによる相互理解と地域連携の更なる充実化を図るため、「産官学民」NPO プラットフォーム構想シンポジウムを法政大学大学院で開催。</p>